

校長	印	教頭	印
----	---	----	---

「現代文A」	単位数 2単位	対象 園芸科・2年1組	担当
--------	---------	-------------	----

1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「現代文A」(現A301)
副教材	「現代文A 学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / その他指導用 DVD-ROM 記載の補助資料など ※「4 学習計画, 及び評価規準など」の「備考」欄では、「現代文A 学習課題ノート」の扱いについては省略している。

3 評価の観点, 及び内容, 方法

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の内容	文章を読む楽しさを味わい読書に親むとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート)			・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容) ・記述の確認(ノート, ワークシート) ・定期考査

4 学習計画, 及び評価規準など

※「主な評価規準の具体例」の欄に示した「学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)」については、学習指導要領の指導事項と対応する記号(ア, イ, ウ, エ)を略記した。

※「関心・意欲・態度」の観点については、各能力(または「知識・理解」)の評価規準に示した内容に、取り組もうとしているということを評価規準とする。

※「備考」欄には、以下の内容が入る。

- 1 学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連 / 2 図書館や ICT の活用など / 3 副教材の使用など

※各単元のうち、2単位の進度に合わせて内容を精選する。

学期	月	単元名 単元目標	教材名	学習内容	主な評価規準の具体例
				【言語】-単元で取り上げる言語活動	[読]-読む/[知]-知識・理解 <評価方法> 学習指導要領の指導事項
1	4	随想・評論 ▼どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。 ▼人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。	さくら	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を通読して、内容の上から本文を3つの部分に分けて、それぞれの内容を整理する。(手引き1) ・筆者がデンマークやヨーロッパでの体験から得た、桜に対する外国人の感じ方・考え方を理解する。(手引き2) ・筆者の桜を読み込んだ歌の内容を理解する。(手引き4) ・桜に対する日本人の考え方と歌人の考え方、筆者の考え方を、それぞれ理解する。(手引き3,5) ・『源氏物語』や『伊勢物語』、『古今和歌集』といった代表的古典作品の文学史的位置づけを理解する。 【言語】 桜について普段考えていることをそれぞれまとめて発表し、お互いの考えを理解する。	[読] 筆者の「桜」に対する考え方を読み取ると同時に、桜に寄せる日本人の考え方を理解している。また、読者の興味を引くような、随筆特有の表現方法を理解している。<記述の確認/定期考査> -ア・イ [知] 語句の意味や用法と本文中の有名な古典作品を理解している。<行動の観察/定期考査>-イ・ウ
		小説 ▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。 ▼多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。	みどりのゆび	<ul style="list-style-type: none"> ・この小説の場面展開を的確に読み取ると同時に、冒頭と最後の情景の関係を理解する。(手引き1) ・小説における比喩的な表現の工夫を理解する。(手引き2) ・小説に込められた作者の思いを理解する。(手引き3) ・祖母の死を覚悟した主人公が回想する祖母の人間像を読み取り、主人公にとっての祖母の存在を理解する。(手引き4) ・主人公の心理が「花屋を開くための勉強」をしようとした理由を考え、最後の場面での主人公の充実感、幸福感はどのような経緯で得られたものかを理解する。(手引き5) 【言語】 この小説の感想を各自まとめて発表し、それぞれの感想について話し合っ、お互いの考え方を理解する。	[読] 主人公と祖母の関係を読み取り、祖母の言葉で変化する主人公の心理を理解している。<行動の観察/定期考査> -ア・イ [知] 語句の意味や用法を的確に理解している。また、小説における比喩を使った象徴的な表現も理解している。<行動の観察/定期考査>-イ
5		随想・評論 ▼どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。 ▼人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。	ミロのヴィーナス	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の要点が、「ミロのヴィーナスが腕を失っていないからならぬこと」、「ミロのヴィーナスの失っているものは腕でなくてはならぬこと」、「筆者の言う腕の持つ意味」であることを理解する。(手引き1) ・「特殊」と「普遍」、「量」と「質」という対義語や「多様な可能性の夢」という抽象概念を示す言葉に注意して、文章の構成を理解する。(手引き2) ・筆者が、この文章を書く動機となった着想を理解する。(手引き3) 【言語】 明快で、読み易い表現を使いながら、主張の根拠を論理的に積み上げていく構成を理解する。	[読] 筆者が、自らの主張を論理的にするために、その根拠を積み重ねていることを理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査>-ア・イ [知] 対義語や抽象的な語句の意味・用法を的確に理解している。<行動の観察/定期考査>-イ

	<p>小説</p> <p>▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。</p> <p>▼多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。</p>	<p>ナイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この小説に登場する人物の過去と現在の状況を踏まえながら、その関係を図にしてまとめ、登場人物の人間関係を理解する。(手引き1) ・小説における比喩的な表現の工夫を理解する。(手引き2) ・英夫の父を怒らせた正太郎の行動を理解する。(手引き3) ・「正ちゃんは一見、悪のように見えるけど、やはり僕らのキャプテンなんですよ」と英夫が言う理由を考え、正太郎の行動がもたらした結果が感謝につながることを理解する。(手引き4) ・「自分たちは日陰なぞありえないところに、ちゃんと日陰をつくったんだぞ」の意味を読み取り、ここに込められた作者の思いから、言外に言わんとすることを理解する。(手引き5) ・情景の大きな変化を描くことが、もう戻れない時間の経過と登場人物の大きな変化を描くことにつながっていることを理解する。 <p>【言語】 発信する方法に適したこの小説の特徴を言い表す表現を考え、内容伝達の方法を理解する。</p>	<p>【読】 悪いことをしている現在の正太郎をみんながかばう理由を理解すると同時に、最後の英夫の発言を通じて伝えなかった、作者の意図を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ーア・イ</p> <p>【知】 語句の意味や用法を的確に理解している。また、小説における比喩を使った象徴的な表現も理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ーイ</p>
<p>6</p>	<p>随想・評論</p> <p>▼どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。</p> <p>▼人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。</p>	<p>言葉と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少し長めで、抽象的な表現を含む文章を的確に読むと同時に、言語という身近なものに対する素朴な疑問を持つ。(手引き1) ・「言葉は世界への窓である。」とは、私たちの言葉の役割を、暗示的に表現していることを理解する。(手引き2) ・この文章の一つのキーワードである「カテゴリー」というカタカナ語を理解すると同時に、それが私たちの言語の中でどういう役割を担っているかを理解する。(手引き3) ・評論でよく使われる「相対」という言葉の意味を理解すると同時に、日常の言語における話者の視点という観点を理解する。(手引き4) ・一般論としての「世界を切り分ける」という言葉の役割を理解し、その具体例としてのものの位置関係を示す言葉の特徴と他言語との違いを理解する。(手引き5) <p>【言語】 私たちが、常識として日ごろ疑問を持たない事柄について、改めて考察する。</p>	<p>【読】 日常使っている言語の役割を理解している。また、抽象的な表現による文章の構成を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ーア・イ・エ</p> <p>【知】 評論における抽象的な語句の意味や用法を的確に理解し、身近な存在である言語の特徴を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ーイ・ウ</p>
	<p>小説</p> <p>▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。</p> <p>▼多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。</p>	<p>カンガルー日和</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カンガルーの赤ん坊を見に行くことになった経緯と、実際に見ている場面の展開を理解する。(手引き1) ・カンガルーの赤ん坊を確認する前と後の、彼女の心境の変化を理解する。(手引き2) ・カンガルーの赤ん坊を「彼女」が確認する前と後の、「僕」の心境の変化を理解する。(手引き3) ・作者独特の軽妙な会話や極端な着想と比喩表現を理解する。(手引き4) <p>【言語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「才能が枯れ尽きてしまった作曲家のような顔つき」のような極端な比喩表現を味わう。 ・一般に「行楽日和」など使われる「日和」を本来なら結びつかない「カンガルー」と結びつけた作者の意図を理解する。 	<p>【読】 僕と彼女の会話から登場人物の人間像と、その心理変化を理解すると同時に、作者独特の比喩表現に込められた作者の思いを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ーア・イ</p> <p>【知】 作者独特の比喩に込められた暗示性を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ーイ・ウ</p>

7	言語活動	1 朗読して味わう	<ul style="list-style-type: none"> 朗読する際の注意点を挙げて確認し、聞き手に内容や読み手の心情が伝わるように朗読する。 詩の構成を考えて、その情景や印象をどのように聞き手に伝えるかを理解する。 好きな詩を選んで読み方を工夫し、聞き手に詩の情景と読み手の心情の伝え方を理解する。 	<p>[読] 朗読する対象作品の内容や情景を理解している。＜行動の観察／記述の確認＞－イ</p> <p>[知] さまざまな作品を朗読する時の留意点を理解している。＜行動の観察／記述の確認＞－エ</p>
2	9 随想・評論 ▼どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。 ▼人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。	塩1トンの読書	<ul style="list-style-type: none"> 古典との付き合いと人間どうしの関係の共通点と相違点を理解する。(手引き3, 4) 筆者の読書に対する考えをもとに、読書に関する自分の考えをまとめる。(手引き5, 6) <p>[言語] 自分の日常の読書量についてと読書をどのように考えているかの考えをまとめ、発表する。</p>	<p>[読] 塩1トンをいっしょに舐めることを例示とした筆者の読書に対する考えを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞－ア・イ</p> <p>[知] 「お茶を濁す」などの慣用語、『吾輩は猫である』などの文学作品、「新しい顔で応えてくれる。」などの比喩を理解している。＜行動の観察／定期考査＞－イ</p>
1	小説 ▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。 ▼多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。	山椒魚	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の山椒魚が置かれた状況を理解すると同時に、場面展開を理解する。 「山椒魚は悲しんだ。」という冒頭の一文の意味と読者に与える効果を理解する。 山椒魚の心理変化を、順を追ってまとめて理解する。 「今でもべつにおまえのことを怒ってはいないんだ。」に込められた作者の思いを読み取る。・自分が山椒魚の立場だったらどうかを考えながら、作者がこの小説に込めた思いを理解し、それに関する自分の意見をまとめて表現する。・「ああ、さむいほどひとりぼっちだ！」や「二個の鉱物は、再び二個の生物に変化した。」のような表現の工夫を理解する。 <p>[言語] 情景描写や心理描写における作者の表現方法に着目し、その効果を理解する。</p>	<p>[読] 山椒魚の置かれた状況と心理状態を的確に理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞－ア・イ</p> <p>[知] 語句の意味や用法を的確に理解している。また、小説における比喩や象徴的な表現も理解している。＜行動の観察／定期考査＞－イ</p>
	随想・評論 ▼どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。 ▼人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。	「おのずから」を感じ取る	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の言う「仕事」という言葉の持つ二つの意味合いを理解する。・筆者の言う「おのずから」と「みずから」の違いを理解する。 筆者の言う現代の仕事観について理解する。 	<p>[読] 「仕事」に関する筆者の考え方と「おのずから」と「みずから」の違いを読み取り、筆者の仕事に対する考えを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞</p> <p>－ア・イ</p> <p>[知] 語句の意味や用法を的確に理解している。＜行動の観察／定期考査＞</p> <p>－イ・エ</p>

1	<p>小説</p> <p>▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。</p> <p>▼多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。</p>	いこころ	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開と「私」とKの関係を理解する。(手引き2) ・「私」がKに対して抱いている恐れ、Kを出し抜いた状況、Kに対して放った言葉を中心にして、「私」の心理変化を理解する。(手引き3, 4) ・Kが「私」にお嬢さんへの恋心を相談した気持ちを考え、Kの心理と人間性を理解する。(手引き5) ・Kが自殺した時に「私」が取った行動を読み取り、この時の「私」の心理を理解する。 <p>【言語】 物語の流れの中から、登場人物の心理描写に着目して、登場人物の心理変化を読み取り、それを説明する表現の仕方を理解する。</p>	<p>【読】 「私」とKの関係、物語の展開とそれぞれの心理と人間性を的確に読み取り、「私」の取った行動の真理を理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査>-ア・イ</p> <p>【知】 明治時代の風俗を示す語句の意味や用法を的確に理解すると同時に、小説における比喩や象徴的かつ暗示的な表現も理解している。<行動の観察/定期考査>-イ</p>
1	<p>随想・評論</p> <p>▼どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。</p> <p>▼人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。</p>	もう一つの知性	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報化社会」について筆者の批判的な考えを理解する。(手引き2) ・「人間の知性の断片化」の意味を理解する。(手引き3) ・筆者の言う「知性のあり方」について理解する。(手引き4, 5) <p>【言語】 筆者の考える「知性」をもとに知性についての自分の意見を文章にまとめ、発表する。</p>	<p>【読】 「情報化社会」への批判的意見、人間の「知性のあり方」に対する考えを正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査>-ア・イ</p> <p>【知】 「知性」、「テーゼ」、「知悉」、「土発的」などの難解な語の意味や用法を的確に理解している。<行動の観察/定期考査>-イ</p>
	<p>言語活動</p>	2 外国文化の影響を調べて発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化の中で現代の日本文化に深く影響を与えた題材を選び、各自の関心をもとにして具体的にどのような点を調べるかを決める。 ・調査する点をどのような手段で調査するかを話し合っ決めて。 ・調査したことを整理して、それをもとに自らの考察を広げる。 ・考察した内容を論理的に構成して、発表する。 	<p>【読】 日本文化に影響を与えたと思われることを探し出し、その内容を調べて考察している。<行動の観察/記述の確認>-イ</p> <p>【知】 調査する内容に的確な調査方法をとっている。また、考察したことを論理的に構成して発表している。<行動の観察/記述の確認>-エ</p>
3	<p>小説</p> <p>▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。</p> <p>▼多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。</p>	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公李徴の発言によって、小説が構成されていることを理解する。(手引き1, 2) ・前半部で語られる李徴の状況と人間像を理解する。また、虎に変身する過程とその時の李徴の心理変化を理解する。(手引き3, 4) ・李徴が袁蓀に依頼したことを理解する。(手引き5) ・李徴自身の気がついた、虎に変身しなればならなかった理由を理解する。(手引き6) ・作者がこの小説で語りたかったことを理解する。(手引き6) <p>【言語】 李徴の生き方についての意見を文章にまとめて、お互いに発表する。</p>	<p>【読】 前半部の李徴の状況と心理状態、虎になって袁蓀に語る自己分析と心理を的確に理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査>-ア・イ</p> <p>【知】 前半部に集中している漢語の意味を的確に理解している。また、小説における比喩や象徴的な表現も理解している。<行動の観察/定期考査>-イ・エ</p>

2	随想・評論 ▼どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。 ▼人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。	「環境史」から考える	・明治時代の新聞の予言をもとに筆者が述べようとしていることを理解する。(手引き2) ・人間の願望や欲望が進めた近代化の弊害を理解する。(手引き3) ・筆者の言う今後の人類の課題について理解する。(手引き4, 5) 【言語】 環境問題に関心のあることを選び、その問題点等をさまざまな方法で調べて、報告書を作成し、発表する。	【読】 明治時代の新聞の予言をもとにした筆者の意見、筆者の言う近代化の弊害を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ア・イ 【知】 歴史にかかわる用語、環境にかかわる用語などの意味や用法を的確に理解している。＜行動の観察／定期考査＞ ーイ
	小説 ▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。 ▼多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。	藤野先生	・「藤野先生」と出会った「私」の心理の変化を理解する。(手引き2) ・「藤野先生」が「私」のためにしたことの意味を読み取り、「藤野先生」の人間像を理解する。 ・「私」の「藤野先生」への思いを読み取り、「私」の考えが仙台へ行く前と変わったことを理解する。(手引き4) 【言語】 主人公に影響を与えた人物の行動からその人物の心理を読み取り、それを発表する。	【読】 「私」の講義ノートを細目に点検してくれる「藤野先生」の心理と「私」の心理を理解している。また、中国人という立場の「私」の思いと心無い周囲の者の思いを歴史的な観点から理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ ーア・イ・エ 【知】 小説における比喩や象徴的な表現も理解している。＜行動の観察／定期考査＞ーイ
3	言語活動	3 読み比べて考える	・テーマに沿った何冊かの本を図書館で探す。 ・それぞれを読みながら、重要な点をメモする。そのメモを比較して、テーマに沿った自分の考えをまとめる。 ・まとめた考えを、グループでそれぞれが出し合って、効果的に話し合う。	【読】 テーマに関連のある本に書かれていることから自分の考察を広げている。＜行動の観察／記述の確認＞ ーイ 【知】 図書館での本の探し方を理解している。また、何冊かの本をテーマに沿って比較している。＜行動の観察／記述の確認＞ ーエ